

旅行者アンケート結果概要

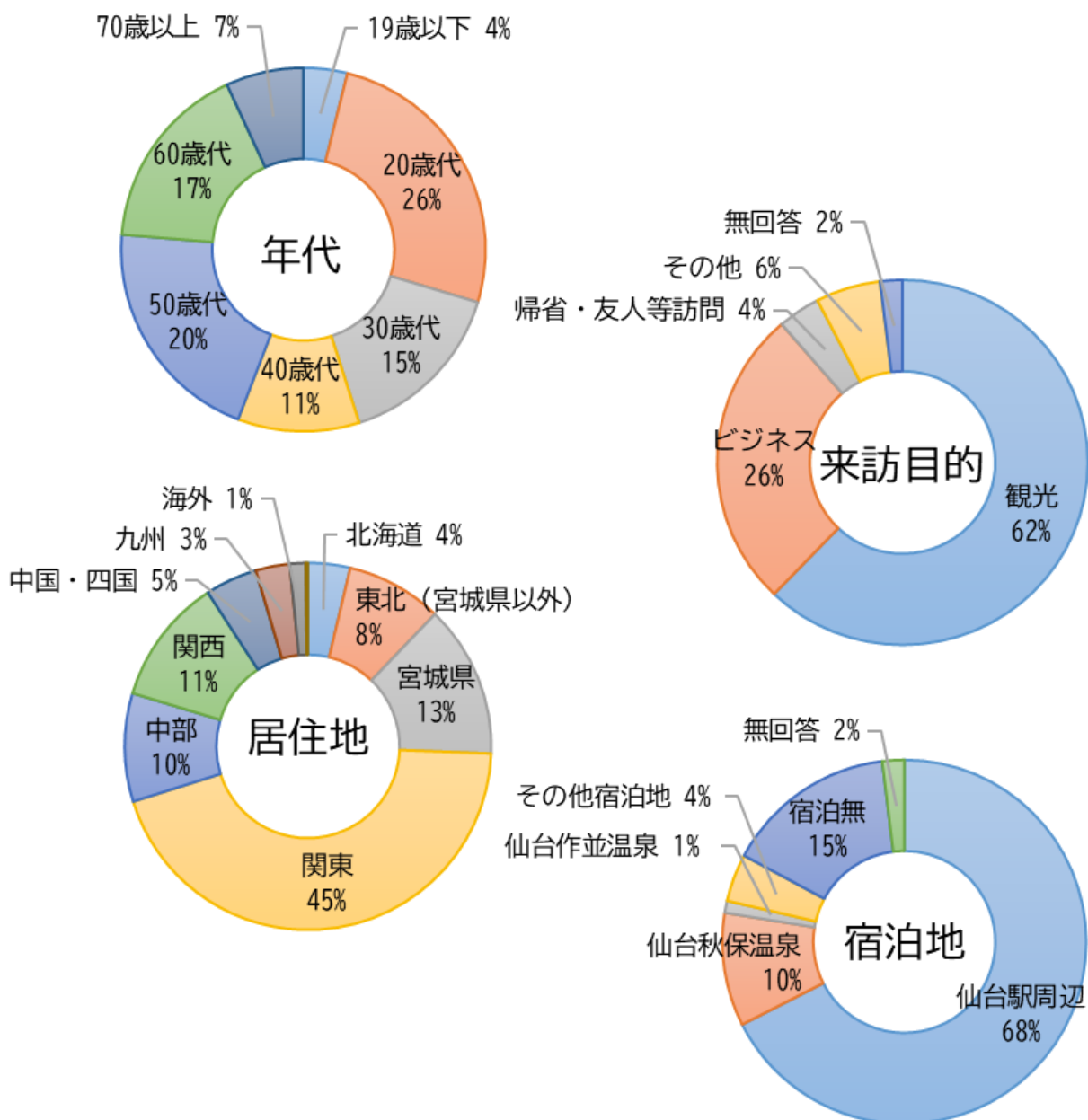
(1) 実施期間および調査手法

旅行者およびビジネス来訪者から直接意見を聴取するため、本市の考え方を示しつつ、対面によるアンケートを実施した。

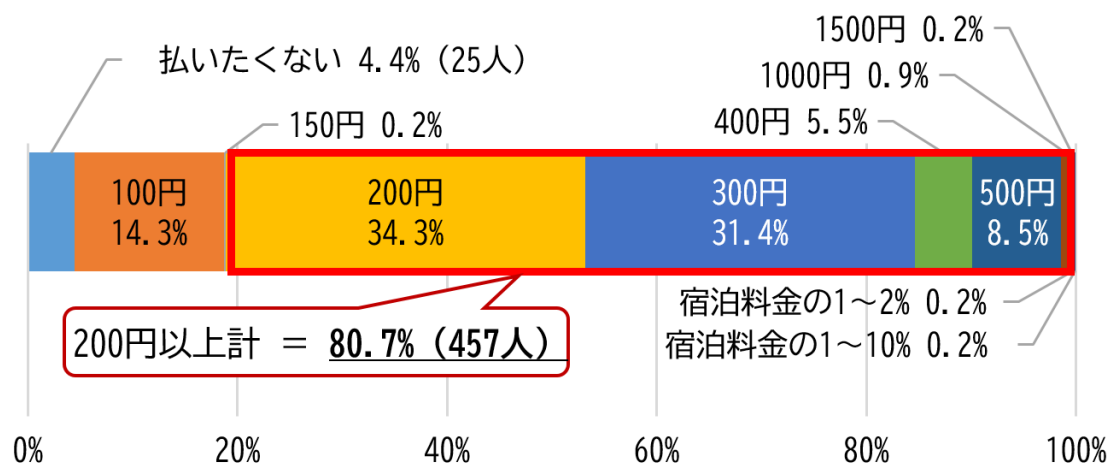
日時	場所	件数	備考
3月9日(土)	JR 仙台駅一歩る仙台バス乗り場	266	市内周遊観光客
3月9日(土)	カメイアリーナ仙台	68	ハイキュー!! 聖地
3月13日(水)	仙台国際センター	142	学会開催
3月16日(土)	秋保・里センター	58	温泉地の観光交流施設
3月16日(土)	湯のまち作並 観光交流館 ラサント	32	温泉地の観光交流施設
合計		566	

(2) 実施結果

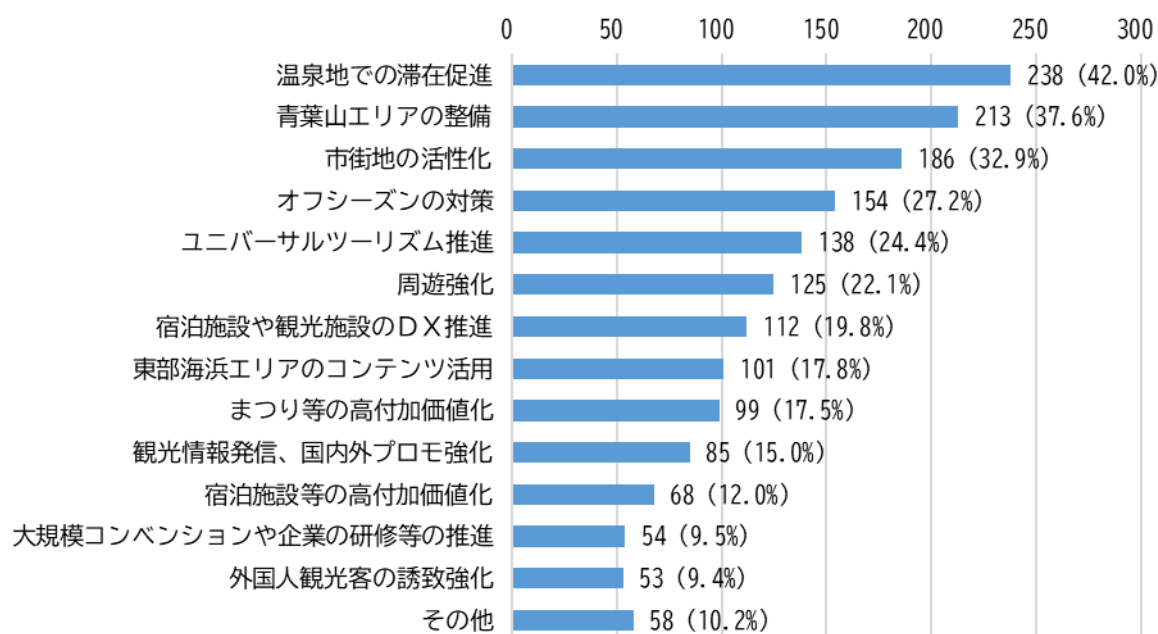
①回答者属性



②宿泊税として支払っても良いと思う金額（n=566）



③宿泊税の活用先の施策として望ましいと思うもの（複数回答）



(3) 考察

- ① 回答者の約 87%が県外在住であり、約 89%が観光またはビジネスを目的として来訪し、約 79%が仙台市内に宿泊していることから、概ね課税対象となる宿泊客である。
- ② 一人一泊あたり 200 円という仙台市の案を示しながら金額を尋ねたところ、約 80%が 200 円以上の金額を支払ってもよいという結果であった。
- ③ 「温泉地での滞在促進」や「青葉山エリアの整備」、「市街地の活性化」といった、取り組み1「エリアの特色を活かした魅力の磨き上げ」に該当する項目のほか、「オフシーズンの対策（宿泊割引キャンペーン）」、「ユニバーサルツーリズム推進（公衆トイレの整備）」等、旅行者を対象とした施策が高い支持を得た。